



はじめに

町民の皆様へ

自然災害による被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが自分の命は自分で守る「自助」、みんなが協力して地域を守る「共助」、役場や消防、警察等の支援である「公助」の連携が必要であると言われています。

災害に立ち向かうためには、家族や地域で「食糧や資機材を備蓄する」、「自分の家の安全対策をしておく」、「地域の危険箇所を知る」、「災害時の連絡方法や避難方法について話し合う」など、日ごろからの「備え」と「心構え」が必要です。

「別海町防災ハザードマップ」には、津波や洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、町指定避難所等の災害時に避難を判断する際に必要な情報を掲載しています。

「別海町防災ハザードマップ」を身近な場所に保管していただき、家庭や地域といった身のまわりでどのような災害の危険が及ぶのかを考え、被害をできるだけ少なくするために、防災・減災について考える際の参考にしてください。

索引

Index

○はじめに・町民の皆様へ	P1	洪水ハザードマップ・防災避難所マップ全体図	P7・8
○警戒レベルを用いた避難情報	P2	洪水土砂ハザードマップ・防災避難所マップ	P9～12
○防災気象情報・避難行動ガイド	P3	○地震対策について	P13
○防災情報の伝達と入手	P4	○津波対策について	P14
○洪水・浸水害について	P5	津波ハザードマップ	P15～18
○土砂災害について	P6	指定避難所・指定緊急避難場所一覧	P17～18
		○備蓄品および非常持ち出し品	裏表紙

